

あなたの出したごみ
カラスが狙っています。



防鳥ネット や フタ付きのごみ箱
をご利用ください。

立川市ではカラスによるごみの散乱が増えています。

ごみの管理は排出者の義務となります。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第3条)
立川市廃棄物処理及び再利用促進条例(第9条)



カラスからごみを守るためのポイント

ポイント

防鳥ネットやフタ付きのごみ箱を利用する。

カラスは主に視覚で、生ごみや食べ物汚れの付着したプラスチック容器などを狙います。それに加え、ごみをあさる習慣がついたカラスは、ごみ袋をそのまま出すと、中にエサとなる食べ物等が見えなくても袋を破ってごみを荒らす恐れがあります。

カラスがごみをあさらないように、防鳥ネットやフタ付きのごみ箱でごみ袋を覆いましょう。

防鳥ネットを利用する場合

- ・カラスのくちばしが通らない目の細かいもの。
- ・カラスや風にめくられないように鎖等の重りがついているもの。

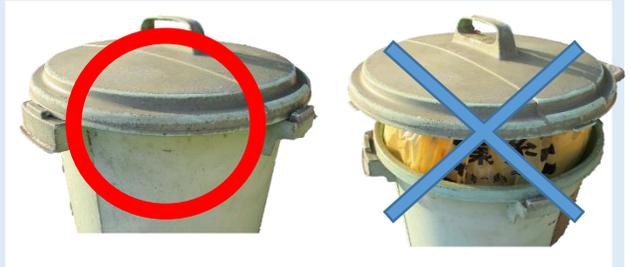
を選びましょう。

※水を入れたペットボトルを重石にしたり、防鳥ネットを二枚重ね掛けすることでも代用できます。



フタ付きのごみ箱を利用する場合

フタをきちんと閉めましょう。フタを置いただけだとカラスにあけられてしまいます。



※フタがないごみ箱をお使いの場合は防鳥ネットと併せて使うと効果的です。

ポイント

ごみを出している時間を減らす。

前日の夜や早朝にごみを出すと、置かれる時間が長くなりカラスに荒らされる可能性が高くなります。当日の決められた時間までに出し、できる限りごみを置いておく時間を減らしましょう。